

2020年6月5日

地区ガバナー、ならびにガバナーエレクトの皆さま

拝啓

新型コロナウイルス(COVID-19)の流行が続く現在、皆さまとご家族がお元気で過ごされていることを願っております。ロータリーは引き続き、皆さまの健康と安全を最優先しています。

新型コロナウイルスにより、私たちの生活、仕事、そしてロータリー活動の多くの面で支障が生じております。しかし、そのような中でも、新しい方法で状況に適応し、成長を遂げ、つながりを築き、インパクトと積極的参加を高める機会があります。

今こそ「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを実践するときであり、世界はかつてないほどにロータリーを必要としています。新型コロナウイルスの影響は国や地域によって異なりますが、つながりと参加を維持する上での困難に直面しているクラブは確かに存在します。だからこそ、皆さま一人ひとりに今後数週間、そのようなクラブがあれば連絡を取り、危機的状況について話を聞き、参加とつながりを保てるようにするための特別なご支援をしていただくよう、ここにお願いする次第です。

既に世界中の多くの地区がそれを実行しており、心から感謝しております。また、クラブや地区が画期的な方法で新型コロナ流行に対応し、クラブ・地区間、そして地域社会でのつながりを築いていることを強く誇りに感じております。以下に心を打たれる活動のいくつかをご紹介します。

- 第 2483 地区(セルビア、モンテネグロ)では、すべてのロータリークラブとローターアクトクラブがオンライン例会を行えるよう、セルビア・ロータリーE クラブが詳しい手引きの作成を援助しました。また、同地区は著名な講演者を招いたオンライン例会を毎週開き、どのクラブでも出席できるようにしています。
- 新型コロナウイルスが流行し始めた頃、第 5320 地区(米国カリフォルニア南部)のガバナーは、十分な対応が地区内クラブによって行われていないと判断し、エッセンシャルワーカー(生活維持に必要な仕事をする人たち)に防護マスクを提供する取り組みを実施し、クラブの参加を促しました。これによって支援金 14 万ドルがクラブから寄せられ、マスク 60,000 個を寄贈できました。
- ルサカ・イースト・ロータリークラブ(ザンビア)は、初となるオンライン入会式を催し、地区内の多くのクラブが出席する素晴らしい式典とすることができました。
- パリ・ウエスト・ローターアクトクラブ(フランス)は、さまざまな国のレシピで料理を行う催しを毎週開き、それを一冊の料理本にまとめました。
- 第 2660 地区(日本)は、地区の全会員のためにオンラインの「友愛の家」を立ち上げました。これにより、地区リーダーからのコミュニケーションを毎週発信し、クラブ例会に役立つ資料を提供し、クラブ役員・会員同士のメッセージ交換を促し、新型コロナ関連の奉仕プロジェクトを紹介することができます。 <https://www.ri2660.gr.jp/yuai/>

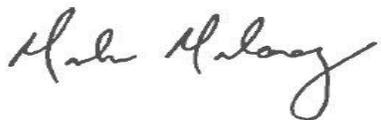
- 植樹 1 万本という年度目標を立てたカカアコ・エコ・ロータリークラブ(米国ハワイ州)は、新型コロナウイルスの影響下でも活動を断念せず、斬新な方法を取り入れ、より一層の力を入れて目標達成に取り組んでいます。
- 第 9211 地区(ウガンダおよびタンザニア)では、研修担当チームが「やればできる」という姿勢を貫き、800 人以上が参加する充実したオンライン研修を開催することができました。
- シンガポール・ロータリークラブは、伝染病学者や感染症専門家が新型コロナ流行に関する質問や懸念に回答するためのウェビナーを実施しました。
- 第 9685 地区(オーストラリア)のガバナー補佐は、地区内全クラブと連絡を取り、オンライン例会に消極的なクラブが近隣クラブのオンライン例会に合流することを奨励しています。
- イタリア国内 13 地区のロータリークラブとローターアクトクラブは、世界をつなぎ、変化をもたらす模範的な活動に取り組んでいます。複数国から何百人もの人が参加し、専門家が新型コロナ関連の質問に回答するオンライン会合の開催や、医師であるロータリアンやその他の医師が人びとの相談に乗るコールセンターの設置など、総額 1100 万ユーロ(約 13 億円)の価値がある活動を展開しています。

これらの素晴らしい活動が実施されている一方で、現在も、先行きが見えない不安定な状況に置かれているクラブがあります。このため、ロータリーコーディネーターには皆さまや地区チームと協力することをお願いしています。各地において適切かつ一貫した方法でクラブのニーズに応えることができるよう、皆さまにもロータリーコーディネーターとの密な協力をお願いいたします。また、RIクラブ・地区支援室と連絡をお取りになっている地区もあるかと思いますが、同担当室の職員は今後も力強いリソースとして、アイデア、ベストプラクティス、研修、ツールを地区に提供していきます。地区チーム、地域リーダー、ロータリー職員と協力して、困難に直面しているクラブへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

困難なときにあっても、「ロータリーは機会の扉を開く」ことができます。地区内で取り残されるクラブや、活動や例会を全く行うことができないクラブがないよう、引き続きガバナー補佐、地区会員増強委員長、その他の地区リーダーと協力してください。皆さまは、ロータリーのリーダーとして職業に徹し、地域社会、クラブ、地区にインスピレーションを与えることが求められています。皆さまがこれに応えていただくことにより、ロータリーは現在の危機的状況を乗り越え、回復への道を照らし、いかなる未来においても力強く歩み続けていくことができるでしょう。

末筆となりますが、皆さまのご健康と益々のご成功をお祈り申し上げます。

敬具



マーク・マローニー  
2019-20 年度国際ロータリー会長



ホルガー・クナーク  
2020-21 年度国際ロータリー会長

CC: RI 理事ならびに理事エレクト  
地域コーディネーター